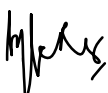


**JAPAN DENTAL ASSOCIATION  
THE FELLOWSHIP OF THE INTERNATIONAL SCIENTIFIC EXCHANGE FUND  
RESEARCH ACCOMPLISHMENT REPORT**

<b>Name of Recipient:</b> Syakriani Syahrir	<b>Period of Fellowship:</b> 1 April 2025-31 Maret 2026
<b>Research Subject:</b> Oral Dysphagia	
<b>Host Institution in Japan:</b> Niigata University	<b>Host Supervisor in Japan:</b> Makoto Inoue
<p><b>Accomplishments during your stay in Japan:</b> During my academic stay in Japan, I was engaged in research in the field of oral dysphagia rehabilitation at Niigata University within a strong clinical and research-oriented academic environment. My primary research focused on the evaluation of texture-modified foods for patients with swallowing disorders, with particular emphasis on swallowing safety and patient acceptability.</p> <p>Throughout this period, I gained hands-on experience using Flexible Endoscopic Evaluation of Swallowing (FEES) as a dysphagia assessment tool. I also participated in multidisciplinary discussions involving dentistry, medicine, and rehabilitation sciences, which deepened my understanding of team-based dysphagia management.</p> <p>In parallel with my research activities, I actively attended academic seminars and conferences, where I presented my research progress and exchanged perspectives with researchers and clinicians from diverse professional backgrounds.</p> <p>Overall, my stay in Japan significantly enhanced my research skills, clinical insight, and international academic perspective, and provided a solid foundation for future academic and clinical collaboration between Japan and my home country in the field of dental science and dysphagia research.</p>	
<b>Publications:</b>	
<b>Presentations at Academic Meetings:</b>	
<b>Contact Address after the Period of this fellowship:</b> 951-8131 Niigata Prefecture, Chuo Ward Niigata City, Hakusanura Town, 2-Chome-171-108	
<b>E-mail Address:</b> [REDACTED]	

Signature of Applicant:



Date: 17 January 2026

JAPAN DENTAL ASSOCIATION  
THE FELLOWSHIP OF THE INTERNATIONAL SCIENTIFIC EXCHANGE FUND  
RESEARCH ACCOMPLISHMENT REPORT

<b>Name of Recipient:</b> Maskey Suvit マスキー スビット	<b>Period of Fellowship:</b> 2025/12~2026/3
<b>Research Subject:</b> Advanced professional development in Oral and Maxillofacial Rehabilitation, focusing on Prosthodontics, Dental Implantology, and Digital Dental Technologies	
<b>Host Institution in Japan:</b> 新潟大学顎顔面口腔外科学分野	<b>Host Supervisor in Japan:</b> 富原 圭 教授
<b>Accomplishments during your stay in Japan:</b> (If this space is not enough, please attach a report) 私はネパールのトリブバン大学から新潟大学に留学した Dr. Maskey Suvit と申します。今回、日本歯科医師会の国際学術交流基金のご支援により、日本で学ぶ貴重な機会をいただきました。まず初めに、この機会を与えてくださった皆様に、心から深い感謝を申し上げます。 予定よりも少し遅れて日本に到着しました。12月の東京はカトマンズよりも寒く、これから向かう新潟はもっと寒い雪の多い所と聞いていたので、想像ができませんでした。はじめて乗った新幹線の速さに感動して窓からの景色をずっと眺めていると、トンネルを超えて新潟に入った途端、風景が急に雪景色に変わり、ついに新潟に来たのだという実感がわきました。その日から、いよいよ新潟での研修生活が始まりました。 新潟大学での教育、診療、研究のすべては、私にとって本当に衝撃的であり、これまでの自分の経験を大きく超えるものでした。特に印象に残ったのは、口腔外科で多くの口腔癌手術が行われ、その後の咬合機能の回復を補綴科の先生方がチームとしてしっかりと支えている姿でした。まるで一つの大きな医療チームが、患者さんの生活の質を守るために一体となって働いているように感じました。このような高度な連携は、ネパールではまだ発展途上であり、私にとって非常に学ぶことの多いものでした。 また、新潟大学の歯学教育では、シミュレーションシステムを用いた先進的なトレーニングが行われており、学生たちが実践的な技術を身につけられる環境が整っていました。学生実習で実際に患者さんの治療を行っていることにも驚きました。とても洗練された教育システムだと感じました。 私の留学生活では、多くの先生方に大変お世話になりました。井上学部長、多部田歯科病院長、富原口腔外科教授、堀補綴科教授には、特に温かいご指導をいただきました。また、小川副学部長は国際交流の中心的な存在であり、多くの姉妹校からの留学生を受け入れ、学生たちが充実した留学生活を送れるよう尽力されていました。 私は大学病院の近くのアパートで一人暮らしをしていましたが、大家さんご夫婦をはじめ、多くの日本の方々に助けられました。皆さんとても親切で、私は日本人の温かさに何度も触れました。滞在中には、ネパールの大統領が来日され、私は急遽東京でのセレモ	

ニーに出席することになりました。スーツケースに入れていたスーツがしわだらけで困っていたところ、大家さんご夫婦が丁寧にアイロンをかけてくださり、無事に大統領をお迎えすることができました。この出来事は、私の心に深く残っています。

また、新潟大学の先生方と一緒に夜の居酒屋に行き、サワーを飲んだことも楽しい思い出です。特に喉が渇いた後に飲むサワーは、とても美味しく感じました。

新潟大学の多くの先生方は、ネパールについてあまりご存じないとおっしゃっていました。だからこそ、今回の交流をきっかけに、ぜひ新潟大学の先生方にもネパールに来ていただき、講演会、共同研究、学術交流などを積極的に進めていきたいと強く思っています。

このような素晴らしい機会を与えてくださった日本歯科医師会の皆様に、心より感謝申し上げます。本当は、皆様一人ひとりに直接お会いしてお礼を伝えたい気持ちでいっぱいです。この文章だけでは、私の感謝の気持ちを十分に伝えることはできません。

日本という国のすばらしさ、そして日本の歯科医療の高さを実際に体験し、これをネパールに持ち帰り、広めていくことが私の責任であると感じています。本当にありがとうございました。

Publications:

Presentations at Academic Meetings:

Contact Address after the Period of this fellowship:

Maskey Suvit : Ward number 14, Kathmandu, Bagmati Pradesh, Nepal

富原 圭 : 新潟市中央区学校町通 2-5274 新潟大学歯学部

E-mail Address:

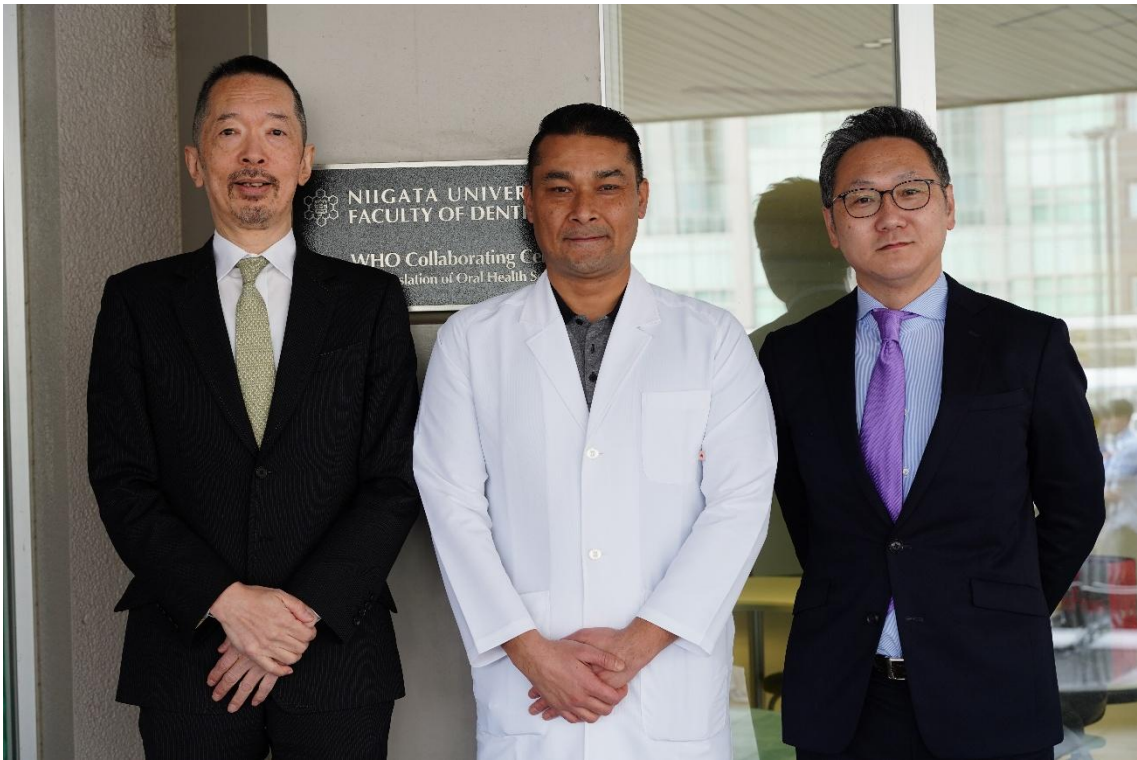
Maskey Suvit : ██████████

Tomihara Kei : ██████████

Signature of Applicant: \_\_\_\_\_



Date: 2026/3/25 \_\_\_\_\_



左から、井上 誠先生(新潟大学歯学部長)、Maskey Suvit 先生、富原 圭先生(新潟大学顎顔面口腔外科教授)。